

古文書を読む会学習記録

作成日 平成31年2月15日

開催日	平成31年2月14日	時 間	10:00～12:00
場 所	区民活動センターAB会議室	出席人数	15名
講 師	真田 雅行氏	作成者	山本 千鶴子
テーマ	第一学習 野島浦 鈴木家文書⑭		
概要	<p>○申渡</p> <p>9月の御大礼（徳川家慶の十二代征夷大将軍就任式）に活鯛調整の大御用なので不行届き無きよう取り計らうべしとの申渡、畏れ奉り候。</p> <p>天保八酉年八月廿五日 御用活鯛浜方取締役 公郷村名主 庄兵衛 他</p> <p>○為取替申規定之事（規定内容詳細釈明に関しては持越しとなる）</p> <p>一、新肴場店を当亥九月より来る酉九月迄の拾ヶ年間、我等五人で引受出精する。口銭の分け方・残余金の取決め・不漁で金不足の折の我等による足し合い等規定。</p> <p>一、本牧浦～西浦迄の荷請高口銭で店諸賄するが儉約に励み、不漁時には我等で足し合い儲金有れば御勝手次第にとの規定。</p> <p>天保十亥年九月 武左衛門 他 喜三郎殿 清兵衛殿</p> <p>○差上申一札之事</p> <p>一、米諸色高値で困窮に付き三俵つゝ拝借と年貢・連判金の日延べをお願い中、山内へ寄合騒動が二日に亘って起こり、隣村の名主・金沢御惣代等に御苦勞をかけたが、組合からお詫びとお願いを申上げた所お慈悲を以て御聞濟になったからには何様の儀も差出がましき事は今後一切しないとの一札。</p> <p>天保七申年十二月 小前惣代・吉五郎 他 組合・権平 他</p> <p>一、寄合等は決してさせない、御法度は守る旨の組合頭連印書。</p> <p>組頭 半重郎 他 御役人衆中様</p> <p>○請取申活鯛御前金之事</p> <p>一、活鯛（七八寸より尺三寸位迄）千枚の代金五拾両を御前金として受領。</p> <p>当酉四月の御大礼に際し御用活鯛仕入の御前金を請取、三月廿日迄に神奈川・羽田浦両御困所へ確かに納めます。飢渴の折、御前金を御渡下され有難き幸せです。</p> <p>天保八酉年正月 倉橋惣左衛門知行所 武州久良岐郡野嶋浦 獵師代・太郎左衛門 他 御用活鯛納入 惣三郎殿</p> <p>○差上申一札之事 大山参詣の客の取り合いで怪我人も出たがお詫びをお聞き入れ内済の上は、この件で差し出がましい事は一切言いませんとの連印書。</p> <p>○差出申一札之事 大山参詣の客をはしけを利用して取り合い怪我人も出たが、重き咎めも取下げて頂いたからには今後沖合ではしけをしないとの一札。</p>		
次回予定	平成31年2月28日 10:00～12:00 於:金沢区民活動センターAB会議室 第二学習 艱難実録(箱館戦争)(下)⑯		